

環境にやさしい農法で 生きものを育み トキと共生する

市では、「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を発足しました。農薬、化学肥料を減らした米づくりに、生きものを育む農法を組み合わせて、環境にやさしい佐渡米づくりと、多様な生きものが生息する水田環境づくりに取組んでいます。



生きもの調査の実施

人とトキがともに暮らす佐渡に

市では「美しく、環境にやさしい島づくり」を進め、レジ袋ゼロ運動や、佐渡市一斉清掃などを行なってきました。

今年秋には、いよいよトキが放鳥される壮大なプロジェクトが現実になります。

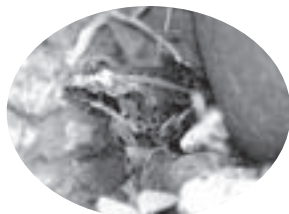
農業においては、水田小生物などの多くの生きものを育む農法で、トキと共生できる水田環境づくりに取組みます。

食の安全・安心を求める消費者ニーズに応えると共に、人とトキがともに暮らす佐渡を作り上げることを目的とし「朱鷺と暮らす郷」という佐渡米を佐渡市が認証することとしました。

また、「朱鷺と暮らす郷」は販売金額の一部をトキ保護募金に寄付します。

このお米を食べていただくことにより、トキの野生復帰への支援の輪が広

がっていくことにも大きな期待をしています。



ヤマアカガエル



ドジョウ

生きものにやさしい農業

「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」では、生きものにやさしいという条件がついています。

田の中干しをしても、周りにある水辺に生きものが逃げ込めるように、農家に江(深み)を作ってもらったり、冬期



江などの設置により、小さな生きものが生息できます。

も田んぼに水を張ってもらったりして、生きものが生育できるようにします。

農薬を減らし、生きものが増えるような田んぼで米を育てるといふこの取り組みを、たくさんの方に知っていただくよう努力しています。そして消費者の方に高く評価され、農家の収入向上につながることを期待しています。

また、朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会を設立し、生きものを育む農法やおいしさにこだわった佐渡米の生産に取組んでいきます。